

## 使用料・手数料見直しの方向性について

### 1、R2年度に使用料・手数料見直しにおいて実施する内容

#### ★「(仮称)川西市使用料、手数料及び負担金等の算定、見直しに関する基準」(案)の作成

財政健全化条例(抜粋)

第8条 市長は、使用料、手数料及び負担金等並びに市税の減免について、受益と負担の均衡、経済情勢等を考慮し、別に定める基準に基づき、随時見直しを行わなければならない。

#### ① 今年度実施した現状把握により見えてきた問題点・課題点の整理

項目	種別	【問題点・課題点】	【考えられる原因】	【見直しの方向性】
見直し時期	【使用料】 【手数料】	10年以上見直しの検討を行っていない	見直しを行うきっかけがない	「(仮称)川西市使用料、手数料及び負担金等の算定、見直しに関する基準」の策定  ・見直し時期、算定基準の考え方を整理 ・常に効率的な事務処理に取り組むことを義務化 ・減免は見える化する等、補助金と同様の取扱いを行うこととして整理する
算出基準	【使用料】 【手数料】	市場性等が反映できていない。 設定当時の資料が無い。算出方法が不明。 コスト算出方法や受益者負担割合にバラツキがある 料金設定が複雑化している	統一された基準がない	
算出基準	【手数料】	事務処理に多くのコストがかかっているものがある	業務フロー等の見直しが行われていない	
算出基準	【手数料】	1件あたりの処理コストが大きく変わっているものがある	環境変化によって処理件数が減少している (し尿・浄化槽処理手数料、放置自転車返還手数料)	
減免	【使用料】	特定の団体を指定して減免…見えない補助金 条例では使用料を規定しているが、減免により無料利用しているものがある	過去は登録グループは無料であったこと等、 H20年度の公民館有料化の際に一定の配慮を行ったため	
稼働率	【使用料】	稼働率の低さから当初想定 of 受益者負担が得られていない	貸館に対するニーズがない 利用しにくい (予約時に来館の必要がある 等)	
				次期総合計画や行革大綱の検討の中で議論する (稼働率は、使用料見直しでの議論ではなく、施設の在り方も含めた検討が必要)

#### ② 審議会で議論いただく内容

(1) 使用料・手数料・負担金等に対する基本的な考え方 (2) 算定方法 (3) 減免の考え方 (4) 見直し期間等の考え方

詳細は資料3「(仮称)川西市使用料、手数料及び負担金等の算定、見直しに関する基準(案)」

### 2、使用料・手数料等の改定スケジュール

